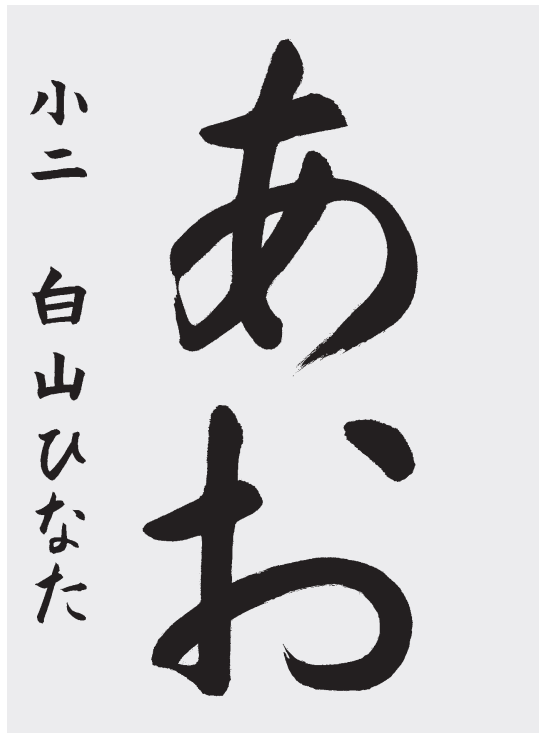


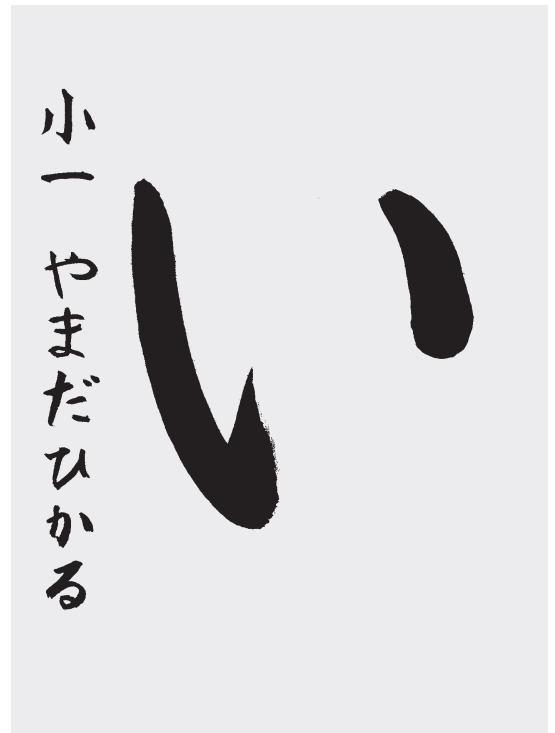
〔5月7日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。
(幼・小1の方は、学年を書かなくてもよい。)

小学2年参考手本

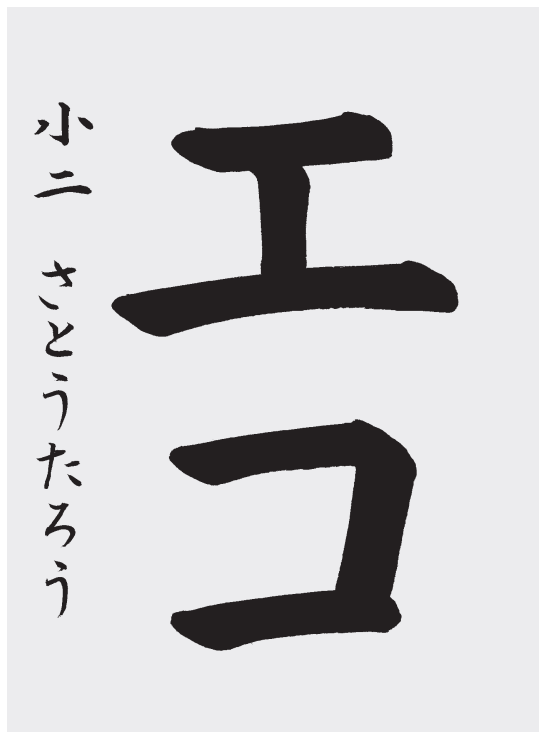


広瀬舟雲先生

幼・小学1年参考手本



田村鄭雲先生



東福青篁先生



半田藤扇先生

〔5月7日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学4年参考手本



小林琴水先生



佐藤菜扇先生

小学3年参考手本



山崎掃雪先生



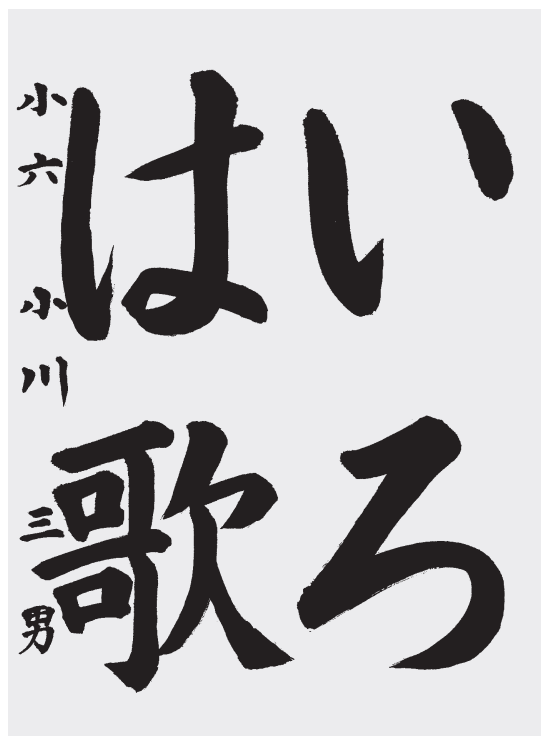
小竹石雲先生

〔5月7日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学6年参考手本



後藤大峰先生



辻元大雲先生

小学5年参考手本



板垣洞仙先生



田中扇溪先生

〔5月7日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

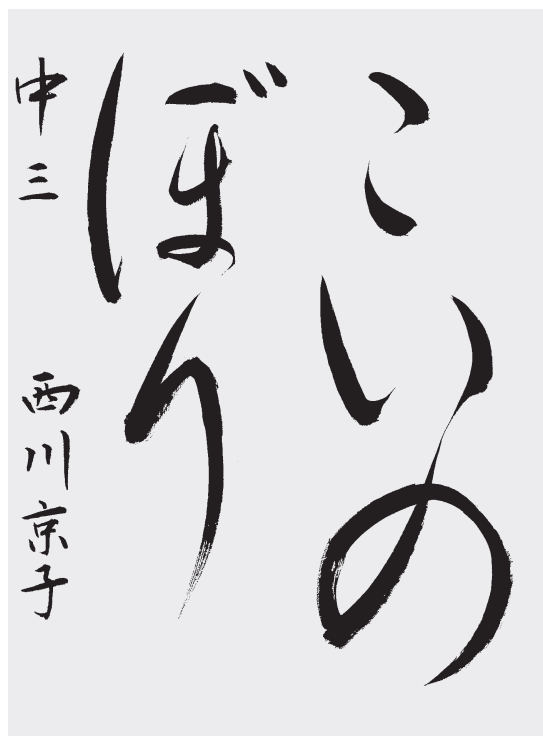
中学全学年参考手本（中学生は、どの課題を書いてもかまいません。）



名越蒼竹先生



小浜大明先生



下谷洋子先生

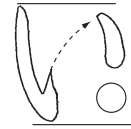


千葉蒼玄先生

毛筆参考手本解説(1)

活字と手書き文字の違いに気をつけて書きましょう。
ゴシック体(ゴ)・明朝体(明)・教科書体(教)・HGP行書体(H)

1年



い(ゴ) い(明) い(教)
い(許容)



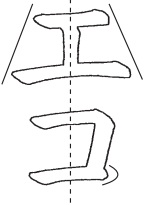
え(ゴ) え(明) え(教)
え(許容)

2年



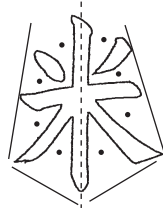
あ(ゴ) あ(明) あ(教)
あ(許容)

安安あ
於於おお



エ(ゴ) エ(明) エ(教)
エ(許容)

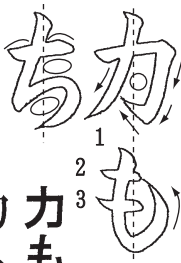
3年



米(ゴ) 米(明) 米(教)
米(許容)

米の点画は等間かくに

米(許容) 止め はね
米(明) 米(教)



か(ゴ) か(明) か(教)
か(許容)

知知ち
毛毛も

4年



白(ゴ) 白(明) 白(教)
白(許容)

たて線は内側に向ける 等間かく

白(許容) はなす
白(明) 白(教)



左右の払いの始筆は浅く接する。

作(ゴ) 作(明) 作(教)
作(許容)

作文(ゴ) 作文(明) 作文(教)
作文(許容)

5年



金(ゴ) 金(明) 金(教)
金(許容)

等間かく

金(許容) はなす 止め
金(明) 金(教)



竹(許容)

竹(明) 竹(教)
竹(許容)

竹(許容) はなす 止め
竹(明) 竹(教)

竹(許容) はなす 止め
竹(明) 竹(教)

竹(許容) はなす 止め
竹(明) 竹(教)



- ・ほ先の向きは、左ななめ上。
- ・濃い部分は、ほ先の通り道。
- ・筆圧の変化に気をつける。
- ・「●」では、筆を一度止める。

毛筆参考手本解説(2)

6年

横画の中央で浅く接する

新緑

新緑(明)
新緑(教)
新緑(明)

〔筆順〕

ハ ヲ ヲ 立 糸 新 新

〔許容〕

方向

ハ ヲ ヲ 立 糸 新 新

ハ ヲ ヲ 立 糸 新 新

ハ ヲ ヲ 立 糸 新 新

ハ ヲ ヲ 立 糸 新 新

はい歌る

いろは歌(明)
いろは歌(教)
いろは歌(明)

〔筆順〕

ハ ヲ ヲ 立 糸 新 新

〔許容〕

ハ ヲ ヲ 立 糸 新 新

〔字源〕

ハ ヲ ヲ 立 糸 新 新

ハ ヲ ヲ 立 糸 新 新

ハ ヲ ヲ 立 糸 新 新

中学

条約

条約(明)
条約(教)
条約(明)

〔許容〕

ハ ヲ ヲ 立 糸 新 新

ハ ヲ ヲ 立 糸 新 新

ハ ヲ ヲ 立 糸 新 新

ハ ヲ ヲ 立 糸 新 新

ハ ヲ ヲ 立 糸 新 新

ハ ヲ ヲ 立 糸 新 新

ハ ヲ ヲ 立 糸 新 新

ハ ヲ ヲ 立 糸 新 新

ハ ヲ ヲ 立 糸 新 新

ハ ヲ ヲ 立 糸 新 新

ハ ヲ ヲ 立 糸 新 新

ハ ヲ ヲ 立 糸 新 新

ハ ヲ ヲ 立 糸 新 新

ハ ヲ ヲ 立 糸 新 新

ハ ヲ ヲ 立 糸 新 新

ハ ヲ ヲ 立 糸 新 新

ハ ヲ ヲ 立 糸 新 新

ハ ヲ ヲ 立 糸 新 新

ハ ヲ ヲ 立 糸 新 新

ハ ヲ ヲ 立 糸 新 新

ハ ヲ ヲ 立 糸 新 新

ハ ヲ ヲ 立 糸 新 新

無欠全

完全無欠
どこから見ても、
欠点や不足などが
まったくないこと。
完璧なこと。

点画の連続・省略

草緑原の

草緑原(明)
草緑原(教)
草緑原(明)

〔許容〕

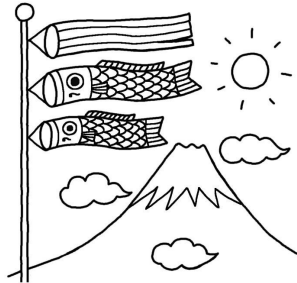
ハ ヲ ヲ 立 糸 新 新

ハ ヲ ヲ 立 糸 新 新

ハ ヲ ヲ 立 糸 新 新

ハ ヲ ヲ 立 糸 新 新

1 2 3



こいのぼり
こいのぼり(鯉)
紙または布で鯉の形に作った端午の節句にたてるのぼり。
通例、吹流し型につくる季語―夏

ひらがなの字源

(378)

「国語科書写の理論と実践」
全国大学書写書道教育学会編より転載

源字	字形
こ	己 ろ と こ
い	以 い い い
の	乃 乃 の の
ぼ	保 保 ほ ほ
り	利 あ り り

※源字については、異字体から変遷したものに*印を付して()にその字体を記した。
※字形は古筆から抽出した。上段には源字に近い草仮名を配し、中・下段にはその変遷過程等を配した。

連綿のない作品例



〔5月7日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学 2 年

幼・小学 1 年

硬筆參考手本

活字と手書き文字の違いに気をつけて書きましょう。ゴシック体（ゴ）・明朝体（明）・教科書体（教）・HGP行書体（H）

支 部 名									
段 ・ 級									
学 年									
二									
名 前									
山 田 花 子									

支 部 名			
	い		み
	ち		ん
だん・きゅう			
	ね		な
がくねん			
一	ん		と
なまえ			
ふじたあおと	せ		も
	い		だ
			ち

黄色(ヨ) 黄色(明) 黄色(教) 々々色

ちゅうしん
中心
色

とめて上へ
かるくはねる
ちから
力をぬいて
よこへまがる

ちゅうしん
中心

○
○
○
○

一十廿
盾原

黄野原(三)

ナガク

日甲里
 野野野

原

『たんぽぽ』
「色」の字形をただしく書きましょう。

ちゅうしん
中心



つづけるきもちで
四^{よん}かくめのいちにちゅうい
むすび
な(三)な(明)

ちゅうしん
中心

A diagram illustrating the concept of a center. It shows a circle with a dashed vertical line passing through its center. An arrow points to the center point, which is labeled with the Japanese characters 'ちゅうしん' (chūshin) and '中心' (kōchin).

ん(三)ん(明)ん(教)

おれ

ほうこうにちゅうい
み(三) み(明) み(教)
むすび

「いちねんせい」
「とめ」「はね」「はらい」をただしくかきま
しょう。

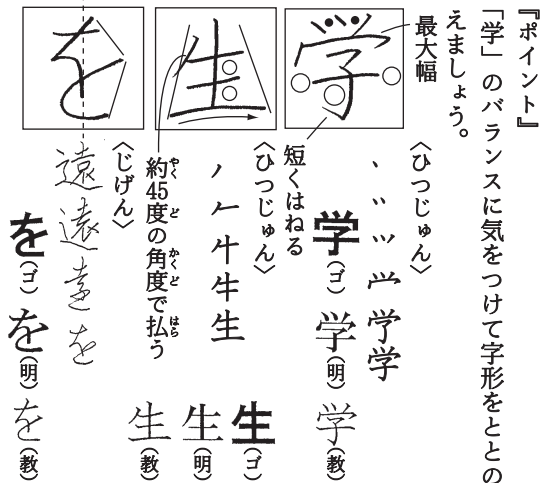
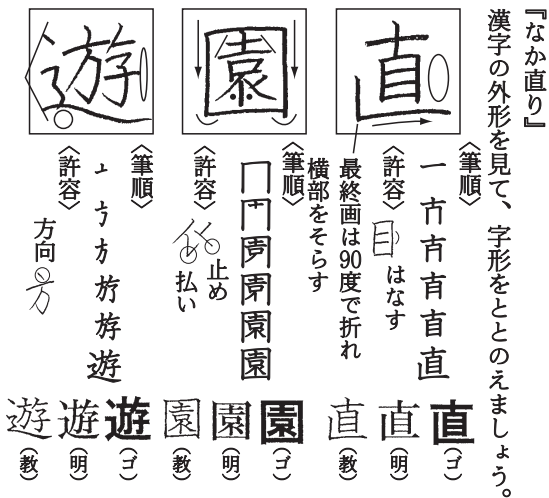
〔5月7日締切課題〕

作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学 4 年

支部名									
段・級									
学 年									
四									
名 前									
矢代心希									

小学 3 年

[illegible]

〔5月7日締切課題〕

作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学 6 年

小学 5 年

支 部 名		ま	手	
		し	紙	転
段 ・ 級		た	に	校
		。	似	し
学 年			顔	た
六			絵	お
名 前			を	友
河			え	達
北			が	へ
健			き	の
太				

支 部 名		想	に	
		を	は	記
		書	り	事
段 ・ 級		き	、	を
		ま	横	切
学 年		し	に	り
五		た。	意	ぬ
名 前			見	き
門 森			や	台
南			感	紙

「へん」「つくり」の組み立て方に気をつけて書きましょう。

斜めの面は約45度で平行に

絵

とめ

はね

方向

とめ

顔

1:1

似

接し方に注意

とめ

絵

教

絵

明

顔

教

顔

明

似

教

似

明

似

明

『似顔絵』

『記事』
筆順にしたがって正しく整えて書きましょう。

〈筆順〉

記
言言言記記 方向ヨ言

長さと角度に注意

紙
長くはねる

感
しそりは長く

紙(教) 紙(明) 紙(教)

感(教) 感(明) 感(教)

許容

〔5月7日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

中 学 生 (行 書)

支 部 名	
段 ・ 級	
学 年	中二
名 前	前田 有里

ヨーロッパへ行く直行便がなかった
ころは、アンカレッジ経由の北回りが
最短ルートであった。

中 学 生 (楷 書)

支 部 名	
段 ・ 級	
学 年	中二
名 前	前田 有里

ヨーロッパへ行く直行便がなかった
ころは、アンカレッジ経由の北回りが
最短ルートであった。

『最短ルート』
漢字、ひらがな、カタカナをつりあいよく
書きましよう。

中心
最
日 は 扁平に
筆順

〈許容〉
はなす
止め 最短
最短

日 耳 又 又
接する 最短

〈筆順〉
矢 知 知 知 短

短
「矢」の横画は
右上がりを強く

・行書のワンポイントアドバイス
行書の特徴のひとつとして終筆の変化
があります。楷書の「はらい」の部分
が「一」とめて次へつながるようにな
る場合があります。

便 経 最

便 経 最

これからの作品締切日と課題

令和5年6月号～11月号までの作品締切日と毛筆課題

中学生 (全学年共通)	小6	小5	小4	小3	小2	幼・小1	締切日	
松原 三保の 新風	労働 品行方正	野原 早起き	学校 ローマ字	小川 子ねこ	みらい メモ	た かわ	6月7日	6月
星に願 い	答案 用意周到	祭典 新記録	元気 外国	ペン 大きい	のぞみ はい	あ いま	7月9日	7月
次代を 担う	自在 粉骨碎身	記念の日 集中力	開始 湖水	友人 石だん	こおり へちま	そ もの	8月6日	8月
夕映え の富士	名月 前代未聞	正倉院 一心団体	朝食 飛ぶ	林道 金メダル	ひろば ねがい	る つき	9月7日	9月
馬耳東風 法隆寺	九成宮・臨書(文徳) 達成感	有名名人 家族	町村 安全	方向 虫かご	もみじ 月	え よむ	10月6日	10月
理路整然 吹く	九成宮・集字(臨海)	筆の里 詩を書く	風景 波の音	月光 大切	えがお ダム	は すみ	11月6日	11月

6月号の硬筆課題 ※硬筆課題は、翌月課題のみ掲載しております。

幼・小1

ざ	あ
い	り
ま	が
し	と
た	う
。	ご

小2

と	き
て	ょ
も	う
さ	は
れ	、
い	青
です。	空
	が

小3

列	校
を	庭
見	で
つ	、
け	あ
ま	り
し	の
た	行
。	

小4

を	こ	わ
照	ん	か
ら	だ	葉
し	光	の
て	が	間
い	、	か
ま	池	ら
す	の	差
。	水	し
	面	

小5

げ	ま	友
て	と	達
発	、	は
言	元	、
し	気	学
ま	に	級
し	手	会
た	を	が
。	挙	始

小6

け	切	古
つ	な	典
が	心	芸
れ	の	能
て	財	は
い	産	人
く	と	々
	し	の
	て	大
	受	

中学生

生	宮
き	沢
方	賢
が	治
で	が
き	追
る	い
社	求
会	め
だ	た
	理
	想
	。

書写を知り 学び楽しむ



広瀬舟雲先生

講師の広瀬舟雲先生は、武蔵野大学教育学部教育学科・教授、全国大学書写書道教育学会副理事長、(公財)書道芸術院評議員です。著書に「刻された書と石の記憶」、共著に「国語科書写の理論と実践」などがあります。

第74回 書写の研究授業

東京都小学校書写研究会（略称は都小書研）の令和四年度研究発表会が葛飾区の小学校で今年二月に開催されました。この研究発表会は、授業公開・研究発表・指導講評並びに講演の三つからなっています。中でも一番注目しているのが毎年、低・中・高学年の各学級で行われる授業公開（今回は、二年生・三年生・五年生の各一クラスずつ三つの授業）で、小学校現場で書写の指導法の研究をされておられるベテランの先生方が練りに練った国語科書写の授業を拝見できるからです。最初にお話ししておく、小学校学習指導要領にきちんと準拠しながら、工夫が幾重にも施され、この研究授業を拝見すると書写にもこういう指導法があるのかという「目からウロコが落ちる」とはこのことで、素晴らしい授業を拝見できるからなのです。この日、東京は大雪となる天気予報で、郊外の私の自宅周囲は朝から雪、十時前には地面が真っ白になりました。電車が止まると困るなあとはいっつまり、山手線に乗り換えると、都心部は雨に変わり、千葉県寄りの会場最寄り駅では完全に雨でホッとしました。発表する先生方の熱意で、天気が変わったのかと思いました。

これまでいろいろな所の研究授業を拝見させて頂きました。全国の各県でも熱意のある書写研究会は多く存在しますが、都小書研は別格でいつも高いレベルの授業開発をしておられます。全日本書写書道教育研究会（略称は全書研）でも東京大会の時の小学校部会は、都小書研の先生方が中心になっています。

今回の低学年二年生の研究授業の单元名は

「画のつき方とまじわり方」で、教材文字は、《「石」「右」「上」「土」》でした。

①ウォーミングアップをする。

（書写体操・鉛筆の持ち方・水書用筆）

②教材文字を使ったクイズをする。

③本時のめあてを知る。「画のつき方と交わり方に気をつけて正しく書こう。」

④画と画が付くか交わるかで違う漢字となることを知り、画に対する付き方や交わり方を話し合って確認する。

この授業の導入部分のみを簡単に記しましたが、ここだけで六つの要素及び工夫（太字の箇所）が取り入れられています。黒板に順に貼られた暗号イラスト（「石の上」「右の土」）のクイズ形式の課題提示は、児童たちの学習の意欲付けに大変効果的で、あいまいな文字では正しく読めないことに気付かせる工夫にまず感嘆しました。

（つづく）



今月のホー プ



小六 星谷麻結 (こだま書の教室)

鋭く締まった線で緊張感が伝わってきます。一点一画に気を込めて、一貫したリズムで書き切った見事な作品です。



小三 近江日織 (恵泉会)

漢字に^{かんじ}負けないよう^ま平^{ひら}がなを^{おお}大きく書き、^{ちからづよ}力強い^{じけい}字形で^{なまえ}名前まで^き気をぬかず^{みごと}見事に^{しあ}仕上げました。

支那名	白琉
段・級	
学 年	中三
氏 名	高野彩英

中三 高野彩英 (白琉書院)

各字、確実に書かれている。特に行書体の筆遣いが全体に良く、更に、ひらがなとの兼ね合いが絶妙です。

支那名	鴨下
段・級	
学 年	五
氏 名	玉岡まな

小五 玉岡まな (鴨下)

止め・はね・払いと基本点画をしっかり身につけ見事な作になりました。穏やかな文字から優しさが伝わります。

第74回全国学生書道展表彰式



令和5年2月5日(日) (於：帝国ホテル 富士の間)

< お 知 ら せ >

・新中学1年生の新段・級は、下記の表のとおり決定いたしました。

6年生の時の 段・級	新中学1年生の 新 段・級	6年生の時の 段・級	新中学1年生の 新 段・級	6年生の時の 段・級	新中学1年生の 新 段・級
3 級	4 級	初 段 上	優 級 上	特 待 生	二 段
4 級	5 級	初 段	優 級 上	準特待生	初 段 上
5 級	6 級	準 初 段	優 級	五 段 上	初 段
6 級	7 級	秀 級 上	優 級	五 段	初 段
7 級	8 級	秀 級	特 級	四 段 上	準 初 段
8 級	9 級	優 級 上	特 級	四 段	準 初 段
9 級	10 級	優 級	1 級	三 段 上	秀 級 上
10 級	10 級	特 級	1 級	三 段	秀 級 上
		1 級	2 級	二 段 上	秀 級
		2 級	3 級	二 段	秀 級

◎出品に際してのご注意◎

- ・システムの都合上、幼稚園・保育園生全員が新1年生の出品券になっていますので、「昇級試験受験一覧」にて学年の訂正をお願いします。
- ・4月提出の競書は新学年の課題を書いてください。

書道芸術学生版 春季昇段級試験規定

・毛筆
・硬筆

今回より受験料が
変更になります。

一、しめきり日 5月7日(日)

一、発表 5月下旬

毛筆の部

一、課題

○試験は次の課題文字による。

幼・小学校一年生 いろ (かいしよ)

〃 二年生 はる (かいしよ)

〃 三年生 中立 (かいしよ)

〃 四年生 名言 (かいしよ)

〃 五年生 足音 (かいしよ)

〃 六年生 出発 (かいしよ)

中学校一年生 成長 (楷書か行書)

〃 二年生 筆法 (楷書か行書)

〃 三年生 進路 (楷書か行書)

一、受験料 各部一点 六〇〇円

毛筆
硬筆 共 一人一点

○受験料は、指定の振替用紙で締切日
までに送金のこと。

一、書 体

○小学生は楷書 (かいしよ)

○中学生は楷書または行書

一、清書には、「学年」「氏名」を受験生本人

が毛筆で書く。(幼・小一の方は、学

年を書かなくてもよい)

一、受験票

応募書類と同送される段級が印字され
た「昇段級試験用」バーコード出品券
を清書の右下にしっかりと貼付する。

(毛筆・硬筆共)

のりしろ		
神田	書道	太郎
① 1013021200013 五段		
昇試 (5月7日締切)		
① 毛 筆		
神田	中 3	
書道 太郎		
五段		
1013021200013		

○応募書類は4月下旬に6月号といっ

しよに、受験番号を記入した応募書

類と「昇段級試験用」バーコード出

品券を送付します。

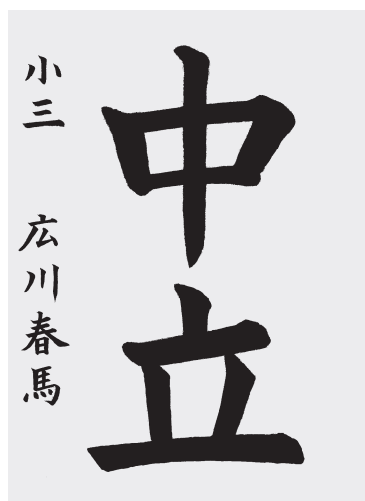
○毛筆・硬筆とも左図のように記入し
て出品する。

作品中央下に赤字で団体番号を記入
する。

一年	い	ろ	〇〇〇〇
しよどつ			
たろう			
	↑	1001	例
		団体番号	

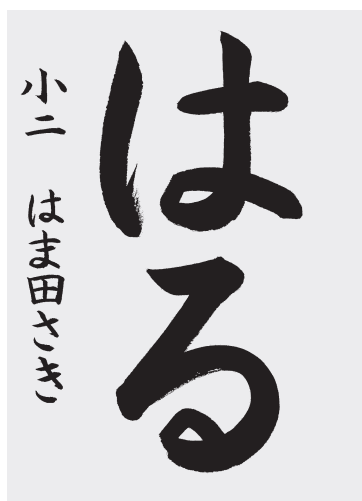
※5月号の購読部数を越える受験はで
きません。

小学 3 年



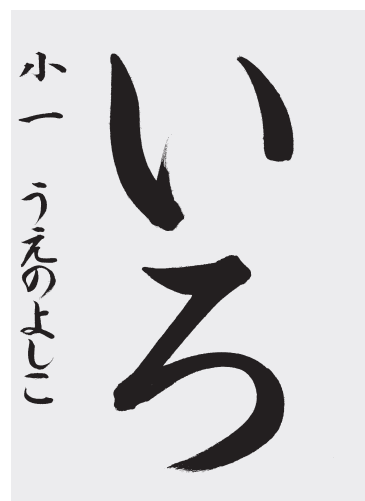
広瀬舟雲先生

小学 2 年



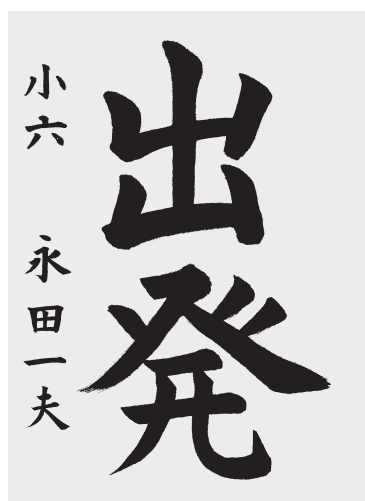
大平邑峰先生

小学 1 年



川島舟錦先生

小学 6 年



広瀬舟雲先生

小学 5 年



大平邑峰先生

小学 4 年



川島舟錦先生

中学 3 年

中学 2 年

中学 1 年

楷
書



小 竹 石 雲 先生



種 谷 萬 城 先生



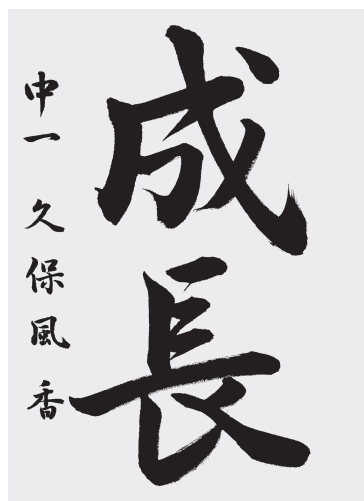
名 越 蒼 竹 先生



小 竹 石 雲 先生



種 谷 萬 城 先生



名 越 蒼 竹 先生

行
書

硬筆の部

- 一、くわしい規定は、「毛筆」と同じです。
- 二、用紙は、本院指定のものを使用するか、もしくは指定の用紙をコピーして、原紙の大きさにあわせて切って出品する。○学年相当の用紙で書く。
- 三、課題（各学年用）参考手本通りに書く。
- 四、「空欄」「。」も正しく書く。

一、課題

小学 1 年

支 部 名		えん	え
段・級		ん	が
学 年		そ	お
名 前	一	く	で
	なまえ		
	えんどうさく		

小学 2 年

支 部 名		き	一
段・級		ま	年
学 年		し	生
名 前	二	た。	が
	市川		入
	麦		学
			し
			て

小学 3 年

支 部 名		朝食	今日
段・級		を	は
学 年		と	ゆ
名 前	三	り	っ
	矢野	ま	く
	大起	し	り
		た。	

小学 4 年

支 部 名		ま	は	こ
段・級		っ	昔	と
学 年		て	の	わ
名 前	四	い	人	ざ
	間	ま	の	や
	航	す。	ち	か
	大		え	く
			が	言
			つ	に

- 一、清書には、「学年」「氏名」を受験生本人が書く。
- 二、幼・小一の方は学年を書かなくてよい。
- 例「ささき ゆめ」
- 支局、支部名は、本人が書けない場合はゴム印でもよい。
- 一、受験票は、応募書類と同送される段級が印字された「昇段級試験用」バーコード出品券を清書の右下にしっかりと貼付する。

※5月号の購読部数を越える受験はできません。

支部名		とかくに人の世は住みにくい。	せば流される。意地を通せば窮屈だ。	智に働けば角が立つ。情にさおさ
段・級				
学 年	中一			
名 前	長野かりん			

支部名		めが並んでいました。	と目玉焼きと野菜いた	テーブルには、パン
段・級				
学 年	六			
名 前	朝日芽衣			

支部名		つ	じ	あ
段・級		て	星	の
学 年	五	い	た	遠
名 前	中橋 登	る	ち	い
		銀	が	空
		河	重	に
		。	なり	ひ
				と
			光	す

春季昇段級試験
で硬筆の部を受験
される方は、
本院指定の用紙
(月例と同じ用紙)
を使用するか、も
しくは指定の用紙
をコピーして、原
紙の大きさにあわ
せて切って出品し
てください。
ご注文は、専用
の払込取扱票にて
前納でお申込みく
ださい。
払込取扱票をお
持ちでない方は事
務所へご連絡くだ
さい。

支部名		とかくに人の世は住みにくい。	せば流される。意地を通せば窮屈だ。	智に働けば角が立つ。情にさおさ
段・級				
学 年	中一			
名 前	長野かりん			

春季昇段級試験

硬筆の部

を受験される方へ

◎硬筆用紙は、学年別に 4 種類あります。

- ① 幼・1年生用 ③ 4・5・6年生用
② 2・3年生用 ④ 中 学 生 用

料 金 表 (送料含む)

硬筆用紙 9 冊以下 (1 冊100円+送料)					
冊数	金額	冊数	金額	冊数	金額
1	245 円	4	615 円	7	1,000 円
2	405	5	800	8	1,100
3	515	6	900	9	1,250

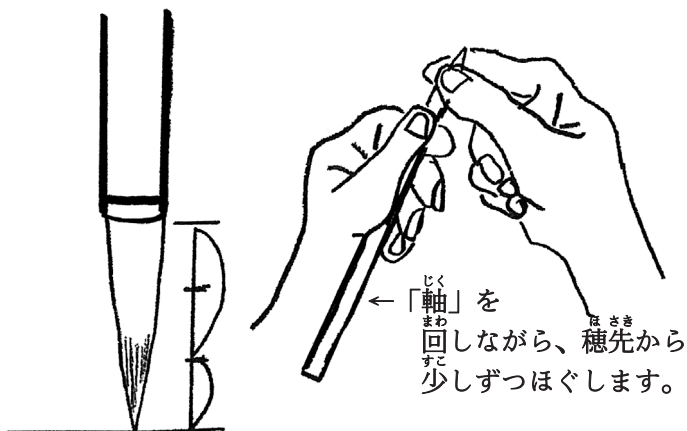
10 冊以上のご注文は、送料無料。

もうひとつ 毛筆 小・中学校の書写では、軸の直径が約1.3cm、穂の長さ5cm前後の筆がよく用いられています。
兼毛筆（柔毛と剛毛を組み合わせられて作られた筆）で固め筆（穂をフノリで固めたもの）が学習に適しています。

ふで 筆のおろし方

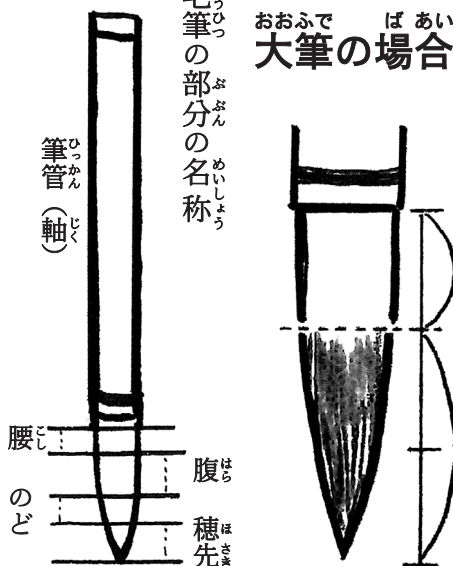
- ・大筆や中筆は、一般的に3分の2以上おろして使います。（全部おろす場合もあります）
- ・小筆は、一般的に穂先の3分の1ほどおろして使います。

こふで ばあい 小筆の場合



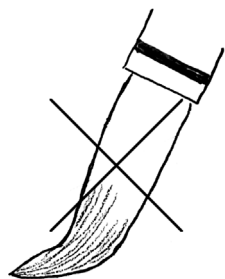
毛筆の部分の名称

おおふで ばあい 大筆の場合



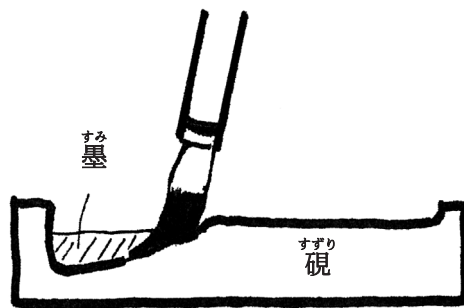
小筆や面相筆などの細筆は穂先をフノリで固めています。ほぐし方は大筆と同じように指先で少しずつ丁寧にほぐします。穂の先端から3分の1くらいの量をほぐして使います。これらの細い筆は特に穂先が重要なので筆おろしも慎重に行います。小筆は毛の量が少ないので、水に浸けなくとも指先でほぐれます。

穂の先端から3分の2くらいまで、指先でゆっくりと少しずつほぐします。穂先が硬い場合は水に浸しながら、少しずつ丁寧に揉みほぐします。ほぐした後、墨（墨液）を含ませ、紙の上で穂先を慣らしてから使います。



途中までおろす場合は穂先を突くような乱暴なほぐし方は、絶対にしないでおろさい。毛先が折れたり、毛が癖が付く原因になります。

ほぐしたところまで、墨を含ませます。書くときには、穂先をそろえます。



墨を含ませるときは穂先だけではなく、おろした部分にたっぷり含ませたのち、余分な墨を硯の縁で調整します。

ふで 筆のお手入れ

使用後は必ず洗った方が良いです。穂の中に墨が残っていると穂先が固まって使いにくくなったり、穂先が割れてしまう原因となるためです。また、十分に乾燥させず水分が残っていると、穂先が蒸れ、カビが生え、毛が抜けるようになります。

おおふで 大筆の場合

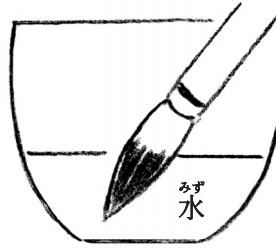
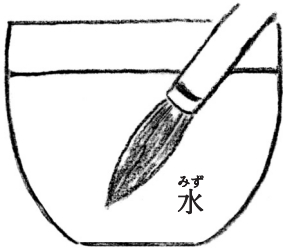
紙などで丁寧にふき取り、その後、水でよく洗います。



。全部おろした場合は、根本までしっかりと洗います。

容器に水をためて洗います。フノリで固めてある部分を洗わないよう気をつけて下さい。

容器に水をためて洗います。

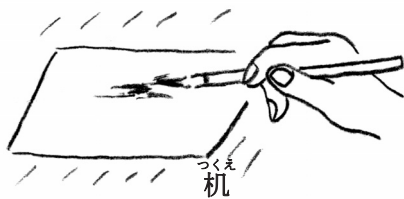


なが 流し台を使う場合

。3分の2くらいおろした場合は、おろして墨をふくんだ部分のみを洗います。

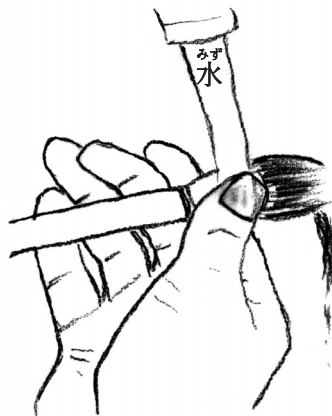
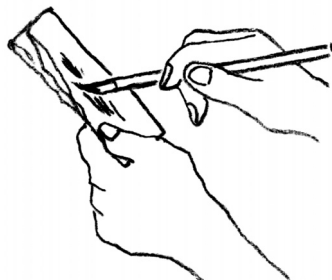
こふで 小筆の場合

小筆は、大筆に比べて乾燥が早いので、穂先に墨だまりが出来ないように気をつけて下さい。



机の上にならした紙を置き、墨のついた部分をふき取り、穂先を整えておきます。

※水洗いすると根本まで筆がおりてしまうので洗わないように注意して下さい。



。流水で洗う。墨をふくんだ部分をよく洗います。フノリで固めてある部分を洗わないよう気をつけて下さい。

第57回 高野山競書大会案内

併催／第38回日中青少年友好交流競書大会

高野山競書大会に出品ご協力を

高野山競書大会は本年57回を迎えます。皆さまご存知の通り、高野山書道協会は日本の全書壇を網羅し、弘法大師空海の遺徳を偲び、書道文化の育成奨励を目的として組織されました。本院としましてもこの趣旨に賛同し、例年多くの会員諸氏のご協力を頂いております。本年も多数のご参加を心よりお待ちしております。新しく出品希望の方は、高野山競書大会総本部までお問い合わせください。

○ 優秀作品展示

八月一日(火)～八月十五日(火)

会場 高野山 総本山金剛峯寺

○ 関東地区優秀作品展示

八月二十五日(金)～八月二十七日(日)

会場 東京・高輪 高野山東京別院

― 学生部規定 ―

一、資格 幼児・小・中・高校生

一、用紙 半紙(縦書き)

一、課題 内容自由 一人十点まで

一、奉賛出品料 団体出品……一点 三五〇円

個人出品……一点 五〇〇円

一、出品手続 指導者の指示にしたがって提出し、団体登録

された書道会(教室)・学校ごとにまとめ

す(個人出品は、直接大会総本部宛に作品と

出品票を郵送してください。連絡先を明記)

◎ 出品締切日 五月十五日(月) 必着(学生部・一般部共)

中国の学童も参加

本大会は、日中青少年友好交流競書大会を併催しており、ここに第三十八回を迎え、中国学童の作品ともに審査します。

◎ 奉納法会 (新型コロナウイルス蔓延の影響により、変更になる可能性があります)

六月三日(土) 最終審査日

総本山金剛峯寺で「第五十七回高野山競書大会作品奉納法会」を行い、出品者の書技向上と日本書壇の発展を祈願いたします。全作品は奉納されますので、お返しできません。

◎ 表彰式 (新型コロナウイルス蔓延の影響により、変更になる可能性があります)

八月四日(金)の予定 式場 総本山金剛峯寺

(金剛峯寺賞以上の受賞者を高野山にご招待いたします)

― 一般部規定 ― [競書の部・献書の部に分かれる]

一、資格 大学生及び社会人

一、用紙・課題 出品手続の規定は学生部と同じ

一、奉賛出品料 団体出品……一点 七〇〇円

個人出品……一点 一、〇〇〇円

献書の部 (一般の方が審査を受けずに参加できます)

一、資格・用紙・課題・出品手続の規定は競書の部と同じ

一、奉賛出品料 競書の部と同じ

● 作品の下部右下に「献書」と明記のこと。

● 献書された方には感謝状と記念品を贈呈。

作品・奉賛出品料送付先

〒648-0294 和歌山県伊都郡高野町高野山一三三 総本山金剛峯寺内

高野山競書大会総本部

☎〇七三六(五六〇二〇二二)(直)

振替〇〇九〇一〇一三三〇九二六

(名義 高野山書道協会)

主催 高野山 総本山金剛峯寺
主 管 弘法大師 高野山書道協会
後 援 毎日新聞社・全日本書道連盟
高野町教育委員会・高野山住職会
高野山枢議会・高野山真言宗参与会

幼・1年

た
さとうひろこ

かわ
小一 いとうなみ

2年

いみ
小ニ こいけえり

メモ
小ニ 木村 るり

3年

小川
小三 山本さとみ

こ子ね
小三 矢田 光

4年

学校
小四 江田 花子

マロ
字一
小四 山田 光一

5年

野原
小五 松本好美

早起
小五 山下知子

6年

労働
小六 中条 優月

ち風
ぬ立
小六 寺部 理

中学

新風
中一 佐藤 太郎

品行
正行
中二 千葉 敬勝

三保の
松原
中三 佐田 久江

い
み
みず
中三 村田 大知

編集余録

○三月一日、気象庁より「関東地方で春一番が吹きました」と発表がありました。昨年より四日早い春の便りです。

○原材料価格や物流費の高騰を受けて食品・サービスなど幅広い分野での値上げの動きが広がっています。書道芸術院におきましても経費削減等、対応して参りましたが今年度より書道芸術学生版・昇段級試験の受験料を変更させていただくこととなりました。指導者・保護者の皆様にはご理解とご協力をお願いいたします。

○お知らせがあります。この5月号で編集を卒業します。来月号より種谷悠輝先生に担当が変わります。2019年4月から担当させていただきました。平成から令和へ。そして新型コロナウイルス感染症の世界的流行。その影響を受け昇段級試験の延期。月例審査会の審査方法の変更。全国学生書道展の表彰式・席上揮毫・ワークシヨップの中止。郵便配達事情の変化など色々ありました。多くの先生方のお力添えのおかげで何とか乗り越えて来ることが出来ました。

「書道芸術学生版」の内容の充実を第一に考え、現場での声を取り入れながら仕事をさせていただきました。とてもやりがいを感じ、また書写教育について深く勉強させていただきました。今後、編集から離れますが「書道芸術学生版」を応援していきたいと思ひます。四年間、ありがとうございました。（菜扇）